

名古屋大学大学院 創薬科学研究科主催 第17回創薬科学セミナー

日時：2013年9月26日（木曜日）18:00～19:00

場所：工学部6号館226講義室

講師：山口 哲志 先生

東京大学先端科学技術研究センター 講師

講演タイトル：

バイオインターフェースを制御する 分子の道具を創る

バイオリファイナーや再生医療などの新しいバイオテクノロジーが、資源問題や医療問題などの社会問題を解決してくれると期待されています。生命体や生体分子といった「バイオ」を安全、安心に、その機能を最大限に利用するためには、人類はバイオを制御し、飼い慣らす必要があります。そのための道具として、分子から成る道具である「分子ツール」が盛んに研究開発されています。

我々化学者は、有機合成によって人工の分子を創ることに長けているため、合成分子によって生体分子には無い機能を創出したり、生体分子に制御機能を付与したりすることができます。大げさに言うと「問題解決能力の高い分子ツールを開発して10年先、100年先の世の中を救う」ことができるのです。

そんな気概を持って、世界中の分子ツールクリエイター達と最先端で鎬を削りながら、我々のグループもユニークな分子ツールを開発してきました。本セミナーでは、その中から酵素や細胞を制御する光応答性の分子ツールの開発や、分子ツールを医療・創薬分野へ応用するための試みについて紹介します。

企画：創薬科学研究科 細胞分子情報学分野 加藤竜司
(kato-r@ps.nagoya-u.ac.jp)

生物・化学の両方の分野のお話です！
奮ってご参加ください。

